令 和 5 年 3 月 17 日

令 和 4 年 度　学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

学 校 法 人　山 口 学 園
長 崎 公 務 員 専 門 学 校
学 校 関 係 者 評 価 委 員 会

令和４年度　学校関係者評価について，下記のとおり，評価結果を報告します。

記

Ⅰ．学校関係者評価委員

①　関連業界関係者（公務員）
②　関連業界関係者（公務員）
③　卒業生
④　卒業生
⑤　教育に関し知見を有する者
⑥　教育に関し知見を有する者
⑦　その他校長が必要と認める者
⑧　その他校長が必要と認める者

Ⅱ．学校関係者評価委員会の開催状況

第１回学校関係者評価委員会　令和５年２月１７日（書面決議）
第２回学校関係者評価委員会　令和５年３月　８日（書面決議）

Ⅲ．学校関係者評価委員会報告
【学校関係者評価報告書】のとおり

以　上

関係者委員会の評価，意見及び提案

学校関係者評価報告書

（令和４年度　学校評価）

学校法人　山口学園

長崎公務員専門学校

別紙　関係者委員会の評価，意見および提案

評価１　6.評価項目別取組状況の「自己評価」結果に対する評価

大区分	ご意見および提案
1.【教育理念・目的・育成人材像】	・（1-2）育成人材像について，【地域および社会の問題を発見し，自ら考え，実践する力を有している人】を【地域および社会の問題を発見し，解決策を実践する力を有している人】に変更してはどうか。
2.【学校運営】	・事業計画書について，（3-5）「教育活動」に記載の箇所は昨年も同様の評価だった（と思う）が，評価が高くなかった点は，次年度の事業計画書に記載う。
3.【教育活動】	・教職員のスキルアップのための書籍等の購入予算を検討してみてはどうか。
	・（3-5）教職員の資質向上のための機会提供の手続きを事前に確認し，参加者が少ない場合は再度周知するなどの努力をしていただきたい。
	・（3-6）マニュアルは運用しやすく整備し効率化を図っていただきたい。
	・（3-4）GoogleFormを用いた評価内容の改善を継続し，より良い内容にしていただきたい。なお，教員の授業改善の結果が100％に達しており，十分評
	・（3-5）前年度より評価が下がったことは残念である。次年度に向けて教職員の研修環境を整備していただきたい。また，研修会等で得た情報を教職員 導に活かされることを期待する。
	・（3-5）専門学校教員は専門的知識は十分持ち合わせている。一方で教育学については学ぶ機会が少ないのではないだろうか。研修の基本は自主研修で が，教員としてのアイデンティティを確実なものにするため，教授学習についての基礎基本を学ぶ機会を学校側から準備提供することも必要ではないかと
	・（3-5）学外セミナーの周知は引き続きしっかり行ってほしい。なかなか浸透するのは難しいと思うが，繰り返し実施するしかないと思う。しかしなが ナーの啓発よりも，教職員の資質向上に関する行動は取られており，この部分が当該項目では重要であるため，評価はBが適当と考える。 ・（3-6）学校，職員の努力が継続されており，アンケートの結果はこれから伸びていくと思うので，評価としてはBが適当だと思う。今後はさらなる業務 思い切ったアウトソーシングを実施することも検討すべきではないかと思う。
	・業務のマニュアル化，引き継ぎ等は個々の先生方によって差が出るものであるため，お金を使って一気に導入した方が効率がいいように思える。
4.【学修成果】	・昼間部一次合格率目標を90～95％，突破率を80～90％に変更してはどうか。
	・（4-1）高い目標の達成に向けた取組の成果が出ていると思う。 ・（4-2）同上。
	・一次合格率は昨年度比6.6％上昇しており，高い合格率を堅持されていることは評価できる。昼間部突破率に関しては，高い目標を掲げる意義は認めるが 良いのではないか。突破率の向上に向けた面接指導への工夫改善（外部の人材資源活用），メンター制度の効果的な運用を期待する。

※1 １条校（いちじょうこう）とは，学校教育法（昭和22年法律第26号）の第１条に掲げられている教育施設の種類およびその教育施設の通称。幼稚園，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，中等教育学校，特別支援学校，大学（短期大学および大学院を含む）および

大区分	ご意見および提案
5.【学生支援】	・各項目の評価は満足できるものである。SPI試験対策や官公庁ガイダンス，卒業生に対する支援等，今後，効果が現れることを期待する。
	・”保護者”という言葉が文面に使われているが、後見人等の別の表現をしてみてはどうか。
	・情報共有の後の対応と，その結果を積み上げていくことも大切であると考える。奨学金制度も見直しがあっているようだが，学力とお金が比例する制度ある。
6.【教育環境】	・（6-1）「自習室の開放など，自習するための環境が整っていた」が100％と評価が高い。土・日の自習室の利用状況はどの程度か。
7.【学生募集】	・コロナ禍において工夫されながら情報提供が行われていることは評価できる。今後もリモートによる説明を含め，地道な活動が入学に繋がることを期待
	・（7-2）評価については妥当と考える。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等もあり，定員の目標を達成できなかったが，来年度はコロナの影響で，学校の魅力が十分伝わるよう，積極的な広報に努めてほしい。
8.【財務】	・（8-2）予算の補正を5月に行っている。評価を「C」→「A」に変更しても良いと考える。
	・全体としては評価できる。昨年に引き続き予算と決算の乖離の是正に取り組んでいただきたい。
	・補正予算を組んでいるので，A評価で良いのではないか。問題ある決算でもないと思う。
	・（8-2）昨年度も指摘したが，改善できていない。学校の経営に関する努力は大いに評価できるが，予算と収支計画については，立案が補正ありきとなの実績等を十分に勘案しながら作成しないと決算との乖離は是正されず，いつまでも評価があがらない。容易に改善できる項目であり，勿体ないと感じる
9.【法令等の遵守】	
10.【社会貢献・地域貢献】	・各項目とも満足できる結果である。高校進路ガイダンスは毎回好評のため，今後も継続していただきたい。

評価2　7.「本年度の総合的な評価結果」に対する評価

	・全体として”A：十分達成”が前年度比5％低下していること，学習成果において，一次合格率，最終突破率が改善しているが，3項目とも”B：概ね達成”で総合評価は”B”が妥当であると判断する。
	・前年度よりも下がっているが，評価Aの項目が多く，皆さんの努力が着実に身を結んでいる。学習成果の（4-1）の評価項目の目標設定が高すぎると思ったからには，実現にむけ，さらに努力を重ねてほしい。今年度の評価についてはBで妥当と考える。
	・個人的には厳しい評価に感じる。

評価3　8.「今後取り組むべき課題（改善策）」に対する評価

（学生に関すること）	・教員，職員，学生がそれぞれ役割分担し，協力しながら充実・強化を図ってほしい。
	・一次試験突破に向けた分析，指導方法の改善，高卒程度のSPI対策，低学力層の底上げ，メンター制度の充実などにより，一人でも多くの学生の夢の実 だきたい。
	・昼間部一次合格率目標100％→90～95％，昼間部突破率目標90％→80～90％への変更。 ・退学率の見直しについては，退学理由に除外無しで良いと思う。
（教職員に関すること）	・全教員が前年度のアンケート結果を踏まえ，授業改善に取り組まれていることを高く評価する。研修等については，校内環境を整え，資質向上に取り組 待する。
	・（3-5）専門学校教員は専門的知識は十分持ち合わせている。一方で教育学については学ぶ機会が少ないのではないだろうか。研修の基本は自主研修で が，教員としてのアイデンティティを確実なものにするため，教授学習についての基礎基本を学ぶ機会を学校側から準備提供することも必要ではないかと ・業務の効率化をトップが覚悟しているので期待（正しいことを正しくやる。特にどうでもいいことを熱心にやっても無駄）。
	・評価が低い点は，事業計画書に記載して，中間で評価しても良いのではないか。事業計画書の内容を基に，評価できるものなので，計画書がもう少し具 れば，目標に到達できるのではないかと感じた。
	・職員の増員は的確な判断だと思う。（3-6）でも述べたが，アウトソーシングの検討を進めてほしい。効率化が進めば，学習成果の部分にさらに力を発 ないかと思う。
	・教職員のスキルアップのための専門書・ハウツー本等の定期的購入制度の導入を検討。

評価4　学校運営の改善に関する提言

	・業務の効率化で捻出された時間を有効に使えるよう取り組んでいただきたい。
	・33項目中，8割近くが”十分達成できている”ことは評価できる。最重要課題である学修成果を高めるため，特に面接対策においては外部の人的資源を積 はどうか。また，SNS等の利用も推進していただきたい。充足率を高める方策として，合格者には出身校訪問を勧めてもらいたい。出身校の教員や在校生 専門学校の魅力を発信できると考える。昼間部突破率は前年度実績をもとに設定（次年度は80～85％程度）してはどうか。
	・保護者アンケートを見て，面接練習に回数制限があると知った。回数制限は学生も保護者も不安を感じる部分だと思う。改善してほしい。
	・現代社会での若い方々の夢や希望をもっと知りたい。夢を育む学校であってほしい。目標の達成とともに，学校としてどうありたいのかも知りたい。
	・業務の効率化をトップが覚悟しているので期待（正しいことを正しくやる。特にどうでもいいことを熱心にやっても無駄）。
	・常に改善策を考え対応いただいている。今後も，業務改善を含めた働き方の見直しや，学生の将来のため，学習成果の発展などに積極的に取り組んでほ